

南島原に IT企業が進出



山の寺分校

旧深江町立小林小学校山の寺分校は、平成16年3月に閉校しました。建物は、雨漏りなどもなく良好な状態で保存され、地域住民による定期的な除草活動によってきれいに保たれています。

- 構造：木造平屋建て(昭和32年建築)
- 面積：129.15㎡

業の誘致を推進していますが、単にIT企業が立地しただけにとどまりません。IT技術を活用した地元産品・観光地の情報発信など、地場企業



株式会社フィルアップ 佐々木善浩 社長

進出するのは、(株)フィルアップと業務提携企業の(株)クロスメディア、(有)イントネオ。3社合同の開発拠点を「南島原ITメディアアリーションラボ」と名付け、東京で受注したソフトウェア開発をはじめ、地域ポータルサイトや一次産業の生産者データベースの構築などを業務とします。

開発拠点となった山の寺分校は、平成16年3月に閉校しましたが、地元の皆さんが大切にされ、良い状態保存されていたところをフィルアップの佐々木社長が目ぼれし、開発拠点設置の運びとなりました。

佐々木社長は、「新しいウェブサービスを開発し、潜在力のある地方から、積極的に世界へ発信していきたい。平成26年度に3人、27年度には10人のエンジニアを雇用したい」と意気込みを話します。

市としてはIT企業の誘致を推進していますが、単にIT企業が立地しただけにとどまりません。

「南島原ITメディアアリーションラボ」は、4月からの開所予定。3月29日(金)午後1時から山の寺分校で開所式が開催されます。

「南島原ITメディアアリーションラボ」は、4月からの開所予定。3月29日(金)午後1時から山の寺分校で開所式が開催されます。

とIT企業の連携による2次波及効果が大きいと見込めるところでもあり、藤原市長も「新たな可能性を秘めている」と期待を寄せています。

なお、開所式終了後、自由に分校の見学をはじめ、(有)イントネオが経営しているオーガニックレストラン(東京都恵比寿)のシェフによる地元食材を使用した料理の試食ができます。



協定書に調印した(右から)有イントネオの鈴木社長、株クロスメディアの久保田社長、株フィルアップの佐々木社長、藤原市長、高田副市長

東京のIT企業3社が深江町の山の寺分校跡に開発拠点を新設することになり、3社と市が1月10日に立地協定を締結しました。

フィルアップ 検索



特集:ごみステーション収集(4~6)



南島原市桜まつり(11)



まちの話題(14~15)

CONTENTS

IT企業と立地協定締結	2~3
4月から燃えるごみはステーション収集へ完全移行します	4~6
北村西望特別展	7
南島原にゆーす	8~11
復興への絆	12
ふるさと応援寄附のご案内	13
まちの話題	14~15
くらしの情報	16~18
島原半島世界ジオパーク	19
南島原市図書館だより	20
国際交流員コラム	21
保健事業のご案内	22~23
市民カレンダー	24

